



岩手県教育研究所連盟事務局
 岩手県立総合教育センター
 〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1
 平成22年6月14日発行 第11号
www1.iwate-ed.jp/kenkyouren/



岩手の子どもたちの真の学力向上を目指して 岩手県教育研究所連盟 会長 藤原 忠雄

(岩手県立総合教育センター所長)

当連盟は昭和33年に発足して以来、今年度で53年目を迎えることになりました。県内各地の教育研究機関が相互に連携し、教育に関する調査・研究を充実させ、今年度も各地域に応じた教育の実現や普及のための研究・研修に努めてまいりたいと存じます。

昨年度は、5月の定期総会及び研究協議会、9月の所員研修会、そして2月の岩手県教育研究発表会と、皆さまより多大なるご協力をいただき開催することができました。

中でも、初めて花巻温泉を主会場に開催しました研究発表会には、7研究所から11主題の発表をいただきました。おかげをもちまして充実した発表会にすることができました。この場をお借りして、心から厚く感謝申し上げます。

その県教育研究発表会の「全体会」におきまして、本県教育の最重要課題である「学力向上」をテーマにした特設分科会「岩手が取り組む学力向上」の趣旨説明を行いました。千々布国立教育政策研究所総括研究官、佐々木教育次長兼学校教育室長、そして私から、本県児童生徒の学習の定着状況、家庭学習状況、教員研修の在り方等についてお話しし、岩手の子どもたちの学力に関する実態をふまえて、課題解決に向けた取組に必要な情報を共有する場にできたこと

は、大きな成果でありました。

さて、昨年12月、県は概ね10年を展望しながら希望あふれる岩手を実現するため、「いわて県民計画」を策定しました。また「岩手の教育振興」「これからの岩手の義務教育」「今後の高等学校教育の基本的方向」「いわてキャリア教育指針」「いわて特別支援教育推進プラン」なども示し、教育実践の充実を図っております。

このような教育を取り巻く状況に、学校、先生方が対応し、生き生きと教育活動を展開していくために、当連盟が果たすべき役割はいつそう重要となることは申すまでもありません。当センターでも、昨年度から掲げております「現場に役立つセンターづくり」を一層推進できるよう、その態勢を整えてまいり所存です。

今年11月に盛岡で開催します、全教連教育課題研究協議会岩手大会につきましては、県教連所員研修会を兼ねまして共催することになりました。各研究所の所員の皆さま方には、共に多くの全国から集まる方々をお迎えし、会を盛り上げていただきたいと存じます。何卒御協力賜りますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、県教連各加盟機関のさらなる発展を祈念いたしまして、挨拶いたします。

■平成22年度定期総会の報告■

平成22年5月14日（金）、県立総合教育センターにて、平成22年度岩手県教育研究所連盟定期総会及び研究協議会が開催されました。

定期総会では、昨年度事業の報告並びに今年度事業予定等が承認されました。研究協議会は、全体会Ⅰ・Ⅱで総合教育センターから情報提供を行い、それをはさみ分科会を行いました。

定期総会で決定された役員は右のとおりです。また、各分科会及び全体会の協議等の様子は2面に掲載しました。

□平成22年度岩手県教育研究所連盟役員□

会 長	藤原 忠雄	総合教育センター所長
理 事	佐藤 功	盛岡市教育研究所長
	今野 充雅	花巻市教育研究所長
	小菅 正晴	一関市教育研究所長
監 事	皆川 耕助	総合教育センター研修部長
	川村 秀彦	紫波町教育研究所長
	上杉 則篤	矢巾町教育研究所長
事務局	総合教育センター企画調査担当	
	鈴木 利典	主任研修指導主事
	菅原 桂吾	主任研修指導主事
	佐々木 真	研修指導主事
	堀切 茂行	研修指導主事

■ 平成22年度研究協議会 ■

今年度の研究協議会も、事務局として加盟機関の活動に役立つ情報を提供するという観点から、二つの分科会を間にはさんで、全体会Ⅰ・Ⅱで総合教育センターからの情報提供を行うという日程で実施しました。それぞれの様子の一部を紹介します。

■ 全体会Ⅰ ■ テーマ『平成21年度岩手県教育研究発表会「全体会」(岩手が取り組む学力向上)及び各市町村教育委員会訪問報告』



総合教育センター藤原忠雄所長が、2月に行われた岩手県教育研究発表会の「全体会」で提案した内容を紹介しました。発表会が県政課題に向けたテーマを掲げて実施していること、また、岩手県の小・中学校の学力の実態と家庭学習への取組の現状について、アンケート結果等の具体的な例を基に紹介されました。

■ 第1分科会 ■ テーマ『学力分析・家庭学習に関する分科会』



第1分科会では、9教育研究所から、昨年度取り組んだ事業の成果と課題及び今年度の主な計画について紹介されました。その後、学力に関わる諸検査について協議が行われました。その中で、国語・数学・英語の実態は把握されているものの、社会や理科の実態を把握することについては、今後の課題であることが浮かび上がりました。次に、家庭学習の実施状況について情報交換が行われました。いわゆる「一人勉強」をなくし、宿題として一定の課題に取り組ませている例、家庭学習に関わるパンフレットを作成し、家庭学習とテレビ等の娯楽の時間について自分で計画を立てさせる例など、様々な取組の紹介がありました。いずれにしても、児童生徒が意欲を持って学習に取り組めるように、教師(学校)が適切な働きかけを行うことが重要であるとの認識を共有しました。

■ 第2分科会 ■ テーマ『不適応支援・学校連携に関する分科会』

7教育研究所が参加した第2分科会は、昨年度取り組んだ事業の紹介と今年度の活動計画について紹介され、情報交換を行いました。その後、各市町村の学校不適応に対応する取組について、発表し合いました。その中で、小中連携を緊密に行うことで、不登校生徒が減少しつつある例や、不登校対策実行委員会を組織し、不登校に関わる個票を基に保健福祉課等の機関とも連携して取り組んでいる例などの紹介がありました。各学校の地道な取組が学校不適応を減少させる近道であることを再認識しました。



■ 全体会Ⅱ ■ テーマ『全国研究所連盟教育課題研究協議会岩手大会について』

全体会Ⅱでは、総合教育センター企画調査担当の鈴木利典主任研修指導主事が、今年度本県で行われる全国研究所連盟教育課題研究協議会の概要について説明しました。そして、各教育研究所からの多数の参加をお願いし、各所員の研修に資することを確認しました。



◆ 閉会行事では、藤原会長から、11月の所員研修会、2月の県教育研究発表会への参加についてのお願いがあり、岩手の児童生徒のために学校教育を支援していくという基本姿勢が確認されました。

3Gで学力向上 (Gチャレンジ・Gアップシート・Gベース)

Gチャレンジ 2010



「Gチャレンジテスト2010」は岩手県内の中学3年生英語・数学の学力向上のためのコンピュータ教材です。自動採点機能により瞬時に得点と度数分布を表示しますので生徒に自分の力を確認させることができます。

Gチャレンジ2010の内容

中学校3年生の学習進度に合わせた復習問題をGアップシートを中心に出题します。活用を意識した問題も出题します。回答の制限時間は40分で、時間になると自動で採点し得点を表示します。

Gチャレンジ2010の実施方法

平成22年度年4回（7月、9月、11月、1月）の指定期間内に実施します。参加は任意ですが、学校単位での参加は、ネットを使って学習（コンピュータで学習）しますので、各学校のコンピュータ室からご利用ください。指定期間後は個人で家庭からも参加もできるようにします。



Gチャレンジ2010のメリット

- 時間になると自動で採点し、すぐに得点の集計結果を表示します。
- 生徒には → 得点、復習すべきGアップシートの番号、度数分布を表示し、自分の力を確認させることができます。
- 先生には → 生徒の得点表、正誤一覧表、各問の正答率を表示し指導が不十分な所を確認できます。



Gアップシート・Gベース

学習指導要領及び国立教育政策研究所作成の評価規準を基に、本県の生徒の実態を踏まえて、中学校の3教科（国語、数学、英語）において身に付けさせたい『中核となる力』を「いわてスタンダード」として平成18年度に作成しました。この「いわてスタンダード」を基に作成した評価問題が「Gアップシート」です。

このGアップシートをコンピュータで学習できるようにした教材が「Gベース」です。「採点記録」をクリックすると、○の数から得点を計算して表示します。同時に、得点、学習日時、学習した回数を学習者ごとにコンピュータに記録します。この記録から学習の取り組み状況を把握することもできます。これを発展させたのがGチャレンジ2010です。

「Gアップシート・Gベース学習サイト」をご利用ください

岩手県内の中学校・高等学校・教育関係機関に「ログインID」「パスワード」を発行し、学校や家庭から「Gアップシート」「Gベース」で学習できるようにしております。どうぞご利用ください。

<http://www1.iwate-school.jp/common/>

Gアップシート 第3学年 英語

Gアップシート498枚
Gベース400教材
があります

「解答」をクリックすると正答の場合にはOを表示します

学校ごとのIDでログインして学習できます

Gアップシート 学習の記録 (3年 英語)

シート番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	得点	100点	70点	88点	100点	100点	84点	88点	100点	39点
10	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
20	100点	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
30	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
40	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
50	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
60	100点	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習
70	39点	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習	未学習

Gベースの学習履歴を一覧表で表示することができます

教員の指導力向上を目指して！ 平成 2 2 年度「所員研修会」開催

平成 2 2 年度岩手県教育研究所連盟所員研修会は、平成 2 2 年度全国教育研究所連盟教育課題研究協議会岩手大会との共催となります。全国から集まる方々と交流を深め、情報交換できる絶好の機会です。参加費も連盟予算事業費から支出しますので、各教育研究所からたくさんの先生方の参加をお待ちしています。

- 1 期 日 平成 2 2 年 1 1 月 4 日（木）（岩手大会は翌日 5 日まで）
- 2 会 場 サンセール盛岡
- 3 対 象 加盟市町村教育研究所の所員及び研究協力員、相談員等教育関係者
- 4 目 的 教師の資質向上について学び合うことをとおして研究所事業の充実に資する。
- 5 日程・内容

◎ 1 1 月 4 日（木）

12:30 13:30 14:00 15:00 15:15 17:15 18:00 20:00

受付	開会 行事	基 調 講 演	休 憩	シンポジウム	休 憩	情報交換会
----	----------	---------	-----	--------	-----	-------

【基調講演】 講 師 国立情報学研究所
社会共有知研究センター長 新 井 紀 子 先生
演 題 「次世代情報共有基盤システムとは何か -NetCommonsと教員研修-」
(仮)

【シンポジウム】
コーディネーター 国立教育政策研究所 千々布 敏弥 総括研究官
シンポジスト 文部科学省担当官、教育センター関係者、大学関係者 (仮)
テーマ 「都道府県の教育を支える教育センターはどうあるべきか」 (仮)

※ 1 1 月 5 日（金） 第 2 日<分科会>

- 7 参加申込 8 月送付予定の第 2 次案内により、県教育研究所連盟事務局（総合教育センター内）あてに申し込んで下さい。

◆岩手県教育研究所連盟事務局◆

岩手県立総合教育センター 企画調査担当内

住所 〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1

Tel 0198-27-2833(直通) Fax 0198-27-3562 E-mail : tyousa-r@ceter.iwate-ed.jp